

## テモテについて



**I テモテ 1:1~2** 私たちの救い主なる神と私たちの望みなるキリスト・イエスとの命令による、キリスト・イエスの使徒パウロから、信仰による真実のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主なるキリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とがありますように。

### 1. テモテは神を敬う者、神を賛美する者という意味です

ユニケの息子であり、ロイスの孫でした (II テモ 1:5)  
ルステラでギリシヤ人の父とユダヤ人の母から生まれました (使 16:1)

### 2. テモテはパウロの弟子でした

- 1) パウロは、テモテを愛する忠実な息子と呼びました (I コリ 4:17、II テモ 2:1)
- 2) 幼い頃からみことばを学び、宣教のために特別に呼ばれた者でした (I テモ 1:18、4:14)
- 3) テサロニケに派遣されました (使 18:5)
- 4) パウロとシラスと一緒にベレヤに行きました (使 17:14)  
パウロと一緒にコリントに行きました (I テサ 1:1)  
エラストとマケドニヤに送られました (使 19:22)
- 5) 最後までパウロに同行しました (使 20:4)  
エペソ教会に派遣されました (I テモ 1:3、II テモ 1:18)

### 3. テモテは若い人でしたが忠実な牧師でした

- 1) 福音の働きをしました
- 2) 信徒たちをみことばによって育てました
- 3) 教会を復興させました

聖日 (主の日) のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

02  
聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書  献金  筆記用具  <子どもの祈りの手帳>  週報を読む

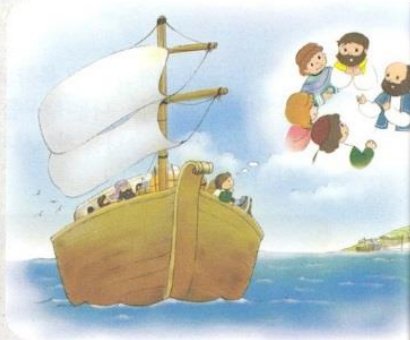


タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題



## エペソに はけんされた テモテ

**I テモテ 1:3** 私<sup>わたし</sup>がマケドニヤ<sup>マケドニア</sup>に出<sup>しゅつぱつ</sup>発するとき、あなた<sup>あなた</sup>にお願い<sup>ねが</sup>したように、あなたは、エペソ<sup>エペソ</sup>にずっとどま<sup>どま</sup>っていて、ある人<sup>ひと</sup>たちが違<sup>ちが</sup>った教<sup>おし</sup>えを説<sup>と</sup>いたり

1. エペソはローマ帝国<sup>ローマ</sup>アジア州<sup>アジア</sup>の首都<sup>しゅと</sup>であり、港湾都市<sup>港湾都市</sup>で、政治<sup>せいじ</sup>、交通<sup>こうつう</sup>、商業<sup>しょうぎやう</sup>、宗教<sup>しゅうきやう</sup>の中心地<sup>ちゅうしんち</sup>でした

2. パウロ<sup>パウロ</sup>が重要<sup>じゅうよう</sup>に思<sup>おも</sup>って働<sup>はたら</sup>きをしたところ<sup>ところ</sup>でした

- 1) ユダヤ人<sup>ユダヤ人</sup>の会堂<sup>かいどう</sup>があつたところ<sup>ところ</sup>でした (使<sup>し</sup> 18:19)
- 2) プリスキラ<sup>プリスキラ</sup>とアクラ夫婦<sup>あくら夫婦</sup>が留<sup>とど</sup>まったところ<sup>ところ</sup>でした (使<sup>し</sup> 18:18~19)
- 3) アポロ<sup>アポロ</sup>が伝道<sup>でんどう</sup>したところ<sup>ところ</sup>でした (使<sup>し</sup> 18:21~28)
- 4) パウロ<sup>パウロ</sup>の働<sup>はたら</sup>きの重要<sup>じゅうよう</sup>な実<sup>み</sup>が結<sup>むす</sup>ばれたところ<sup>ところ</sup>でした (使<sup>し</sup> 19:1~10)  
ツラノ運動<sup>うんどう</sup>を通して<sup>とお</sup>て多くの弟子<sup>お</sup>たちが起<sup>おこ</sup>りました (使<sup>し</sup> 19:8~10)  
魔術<sup>まじゆつ</sup>を行<sup>おこな</sup>っていたユダヤ人<sup>ユダヤ人</sup>が悔<sup>あらた</sup>めましたが、偶像<sup>ぐうざう</sup>を作<sup>つく</sup>って売<sup>う</sup>る銀細工<sup>ぎんざいくにん</sup>人<sup>まわ</sup>(\*)が騒<sup>さわ</sup>がしくしたところ<sup>ところ</sup>でした (使<sup>し</sup> 19:13~29)
- 5) ミレト<sup>ミレト</sup>でエペソ<sup>エペソ</sup>の長老<sup>ちやうらう</sup>たちを招<sup>しょうたい</sup>待<sup>たい</sup>して特別<sup>とくべつ</sup>メッセー<sup>つた</sup>ジを伝<sup>つた</sup>えました (使<sup>し</sup> 20:17~38)
- 6) 監獄<sup>かんごく</sup>の中<sup>なか</sup>でエペソ人<sup>エペソ人</sup>への手紙<sup>てがみ</sup>を記<sup>き</sup>録<sup>ろく</sup>してテキコ<sup>テキコ</sup>を通<sup>とお</sup>して伝<sup>つた</sup>えました (エペ 1:1)

3. エペソ<sup>エペソ</sup>に混乱<sup>こんらん</sup>があるときテモテ<sup>テモテ</sup>を派遣<sup>はけん</sup>しました (I テモ 1:3)

\* 銀細工<sup>ぎんざいくにん</sup>人<sup>きんざいくにん</sup>: 金銀細工<sup>きんぎんざいく</sup>や真鍮<sup>しんちゆう</sup>の器<sup>うつわ</sup>などを作<sup>つく</sup>る技<sup>ぎ</sup>術<sup>じゆつ</sup>者<sup>しゃ</sup>

聖日<sup>せいじつ</sup> (主日<sup>しゅのひ</sup>) のために、  
礼拝<sup>らいはい</sup>の準備<sup>じゆんび</sup>をして礼拝<sup>らいはい</sup>をささげみことばを  
私<sup>わたし</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>に適用<sup>てきよう</sup>することまで、すべてが礼拝<sup>らいはい</sup>です



神<sup>かみ</sup>は霊<sup>れい</sup>ですから、神<sup>かみ</sup>を礼拝<sup>らいはい</sup>する者<sup>もの</sup>は、霊<sup>れい</sup>とまことによつて  
礼拝<sup>らいはい</sup>しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

✓ 礼拝時間<sup>らいはいじかん</sup>に必要な<sup>ひつよう</sup>ものを準備<sup>じゆんび</sup>できたかチェックするの<sup>つめ</sup>に使<sup>つか</sup>ってください

聖書<sup>せいしよ</sup> 献金<sup>けんきん</sup> 筆記用具<sup>ひっきようぐ</sup> <子ども<sup>こ</sup>の祈<sup>いの</sup>りの手帳<sup>てちょう</sup>> 週報<sup>しゅうほう</sup>を読む<sup>よ</sup>



タイトル

聖書箇所

Blank lined area for writing the title and scripture reference.

今週<sup>こんしゅう</sup>握<sup>にぎ</sup>るみことば

今週<sup>こんしゅう</sup>の祈<sup>いの</sup>りの課題<sup>かだい</sup>

Blank lined area for writing the weekly devotion and prayer topic.

## しどうしゃへの おしえ



**I テモテ 3:1** 「人がもし監督の職につきたいと思うなら、それはすばらしい仕事を求めることである」ということばは真実です。

### 1. 教理に対する教えを伝えました (I テモ 1:1~20)

- 1) 違った教え (偽りの律法) を教える人がいました  
- 彼らは果てしない空想話と系図とに心を奪われたり、論議を引き起こしました (I テモ 1:3~4)
- 2) キリスト・イエスは忠実な者と認めてくださって、恵みの福音を伝える務めを任せました (I テモ 1:12~17)
- 3) 信仰の良い戦いを勇敢に戦い抜くように言いました (I テモ 1:18~20)

### 2. 礼拝に対する教えを伝えました (I テモ 2:1~15)

- 1) 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられると言いました (I テモ 2:4)
- 2) 神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスですと言いました (I テモ 2:5)
- 3) キリストは、すべての人 (罪人) のために、ご自身を贖いの代価としてお与えになったと言いました (I テモ 2:6)

### 3. 指導に対する教えを伝えました (I テモ 3:1~6)

- 1) 監督 (指導者) の職分はすばらしい仕事を求めることです (I テモ 3:1)
- 2) 評判の良い人でなければいけないと言いました (I テモ 3:7)
- 3) キリスト・イエスを信じる信仰について強い確信を持つことができる者でなければならぬと言いました (I テモ 3:13)

聖日 (主の日) のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

Blank writing area for journaling with a book icon and a dove icon.



# いつわりの おしえに たいする メッセージ



**I テモテ 4:1~5** しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており、結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるようにと、神が造られた物です。神が造られた物はみな良い物で、感謝して受ける時、捨てるべき物は何一つありません。神のことばと祈りによって、聖められるからです。

## 1. うそをつくる人（偽教師）に対する教えを伝えました（I テモ 4:1~16）

- 1) 後の時代になると、惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われると言いました（I テモ 4:1）
- 2) 良心が麻痺しており、偽善によってうそをつくる者であると言いました（I テモ 4:2）
- 3) 禁欲主義、霊知主義者でした（I テモ 4:3）

## 2. 教会の勧善懲悪(\*)に対する教えを伝えました（I テモ 5:1~25）

- 1) 話してはいけないこと（うわさ話やおせっかい）は、非難を受けると言いました（I テモ 5:13）
- 2) 訴えは、ふたりか三人の証人がなければ、受理しないように言いました（I テモ 5:19）
- 3) だれにでも軽々しく接手をしてはいけないと言いました（I テモ 5:22）

## 3. 牧師の義務に対する教えを伝えました（I テモ 6:1~21）

- 1) キリストの健全なことばと敬虔にかなう教えとに同意するよう言いました（I テモ 6:3）
- 2) 敬虔を利得の手段と考えている人たちが起こす紛争を防ぐよう言いました（I テモ 6:5）
- 3) 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だと言いました（I テモ 6:10）  
- 衣食があれば、それで満足すべきだと言いました（I テモ 6:8）

\* 勧善懲悪: 教会で善い行動は推奨して、悪いことは懲戒すること

聖日（主の日）のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

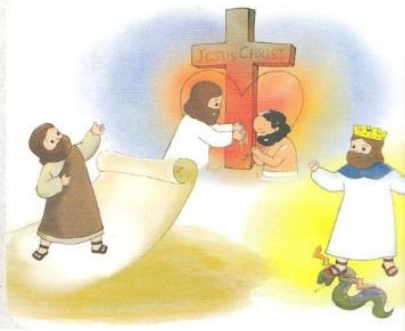
今週握るみことば

今週の祈りの課題

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes, featuring a book icon and a dove icon.

がくいんらくいんか  
5か

## テモテへの てがみ だいいちに あらわれた キリスト



1. キリストは、**わたし**を強くしてくださいます (I テモ 1:12)
2. キリストは、**わたし**に職分を任せます (I テモ 1:12)
3. キリストは、**罪人**を救うためにこの世に**来**られました (I テモ 1:15)
4. 永遠の王である神様には、**誉れ**と**栄え**とが**世々**限りなくあります (I テモ 1:17)
5. キリストは神と人との間の**仲介者**です (I テモ 2:5)
6. キリストはすべての人の**贖い**の代価として、ご自身をお与えになりました (I テモ 2:6)
7. キリストはすべての人、特に**信じる者**の救い主です (I テモ 4:10)
8. 王の王、主の主であり、ご自分の良しとする時に**現れ**を示してくださる**再臨**の主です (I テモ 6:15)
9. とこしえの**光**の中に**住まわれる方**です (I テモ 6:16)

にちよう  
じゅんぴ

聖日 (主の日) のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、**霊**と**まこと**によって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

Blank writing area for notes and prayers, featuring a book icon on the left and a hand icon on the right.